



■ 企業経営に対する健康経営の効果について、ストーリー仕立てでの説明

- ①従業員の食事習慣や運動習慣の改善、禁煙への取り組みにより、生活習慣病のリスクを低減させ、動脈硬化等による脳梗塞・心筋梗塞等重大な疾病を防止し、その結果として、組織の生産性の向上を図る。
- ②従業員のメンタルヘルス、働き方・休み方の啓発への取り組みにより、健全なメンタルを維持し、適切な勤務時間で生産性を高めて働く従業員が増加することで、働きがいやエンゲージメントが高まり、その結果として、組織の生産性の向上を図る。

■ 健康経営全体の具体的な目標、その設定に至った背景・根拠

- ①脳梗塞・心筋梗塞等重大な疾病を防止するために、高血糖・高血圧・脂質異常にならないよう「健康的な生活習慣を維持する」ことを基本的な目標と考え、生活習慣病リスク保有者の低減を狙いとして「特定保健指導該当率」を具体的な目標とした。

(\*) 基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。